

調査団体名	渥美自然の会	団体代表者名	大羽康利
活動地域	渥美半島の山・川・里・海	団体URL	http://www.amitaj.or.jp/~irago-o/
<p><活動内容></p> <p>○渥美半島越戸大山自衛隊ヘリコプター離着陸訓練場問題 「渥美山塊を利用・生息する絶滅危惧種」「2008年猛禽類調査結果」(P・Nファンド助成事業)調査でハチクマ、サシバなどの猛禽類繁殖や繁殖に関わる行動を確認。結果を計画に反映し、さらに自然保護団体が防衛庁と、科学的で開かれた話し合いと十分な合意形成を提案する。</p> <p>○1990年より「渥美の自然を守れ！伊良湖フォーラム」。毎年10月初旬に開催する。</p> <p>○1980年代から渥美山塊のシデコブシ自生地と株数調査を実施し、調査活動を通してシデコブシについては全国のシデコブシ保全活動と連携をしている。</p> <p>○「レッドデータ渥美」1994年を作成する(WWFジャパン助成事業)。 内容: 照葉樹林、泉福寺の社叢は原生林。シデコブシ、藻場、ハチクマ等鳥類、塩性湿地的環境、太平洋岸の岩礁地帯、アカウミガメ等、特異地形として逆傾斜。渥美半島天伯原(田原)砂浜・砂丘。表浜(田原、赤羽根)海食崖。伊良湖岬、日出など。</p> <p>○その他、渥美半島の山・川・里・海をめぐる種々の課題に取り組んでいる。</p>			
<p><連携している団体・専門家・自治体など></p> <p>「渥美の自然を守れ！伊良湖フォーラム」の開催に伴い、県内外の調査、保全保護団体との協力ネットワークが形成されている。表浜海岸に産卵に来るアカウミガメを環境問題の指標として活動するNPO法人 表浜ネットワーク、NPO法人 渥美半島ハイキングクラブ等との連携が形成されている。また、ホームページのリンク先が多数ある。</p>			
<p><今までに行った調査・研究></p> <p>○猛禽類調査の継続、2008年猛禽類調査結果 ○1980年代から渥美山塊のシデコブシ自生地と株数調査の継続 ○渥美山塊の植生調査と「レッドデータ渥美」作成(1994年)と追跡調査など</p>			
<p><現在直面している課題></p> <p>○渥美半島越戸大山自衛隊ヘリコプター離着陸訓練場問題 ○風力発電施設による環境影響 三河湾側の埋立地に1カ所11基が既に設置されている。景観、騒音、低周波、気流の乱れ、野鳥への影響、航空機のための夜間照明による影響、管理用道路及び基礎工事に絡む問題など多様であり、自然エネルギーだからこれらの環境影響に目をつぶるというわけにもいかない。</p>			
<p><今後どんな情報が必要か></p> <p>県なども交えて自然史博物館、生物多様性センターの必要性と重要性を議論する場とネットワーク化。</p>			
			
<p>現地のサシバの幼</p>		<p>雨乞山から越戸大山・自衛隊ヘリコプター離着陸訓練場</p>	